



## ふるさと応援納税で 犬山をげんきにするために

犬山をげんきにするために、中部電力ミライズコネクトさんとタグを組んで「ふるさと納税」の新しい取り組みとなる「ふるさと応援納税」をスタートしました。

### ふるさと納税への考え方と現状…

ふるさと納税には、賛否両論さまざまありますが、わたしの立ち位置は、ふるさと納税という制度がある以上、意識して大いに活用していくものだと考えています。

ちなみに昨年度の犬山市へのふるさと納税額は約10億円で、うち記念品や手数料、必要経費が約4億円かかっており、実益は①6億円となっています。一方で、犬山市民のみなさんが他市町村へふる

さと納税を行うことで減少する市民税額は②約2億2,000万円と、件数も金額も増え続けています。ですから、犬山市としての実収入は、①－②＝約3億8,000万円となります。一方で、国においてふるさと納税の制度の厳格化が進み、犬山市でも大きな影響を受け、今年度はふるさと納税額が減額すると見込んでいます。

### ふるさと応援納税ってなに…

だから、これまでの返礼品を開拓し拡げることで返礼品を増やし選んでもらうカタチから、現地・着地型の新しいふるさと納税のカタチを探ってきました。カタログ型返礼品からの変化と進化です。それが、現地決済型の「ふるさと応援納税」になります。

犬山という旅先に来てもらって、犬山の宿泊施設や飲食店、レジャー施設などで、ふるさと納税の寄付をスマートフォンですべて済ませたい。するとその場で、電子クーポンが返礼品としてもらえます。その電子クーポンを使って、犬山市内の電子クーポン加盟店(現在、

14事業者。これから加盟店を増やしていきます。)で買い物や支払いができるというものです。



◀加盟店設置の二次元コードから簡単にふるさと納税できます。

### 犬山がどう変わっていくの…

電子クーポンが加盟店で使える、市内の周遊性につながるふるさと応援納税の導入は、愛知県では犬山が初めてとなり、令和5年11月27日から利用を開始しています。

ここから宿泊施設や飲食店、レジャー施設などの「旅先」「犬山」でふるさと納税ができるふるさと応援納税を取り入れて、観光客の消費の選択肢を広げ、消費意欲を高めます。そして、犬山の豊富な地域資源を活かしながら、地域と経済の活性化につなげていきます。

「ふるさと応援納税」という新たな挑戦で、犬山を前に進めていきます。